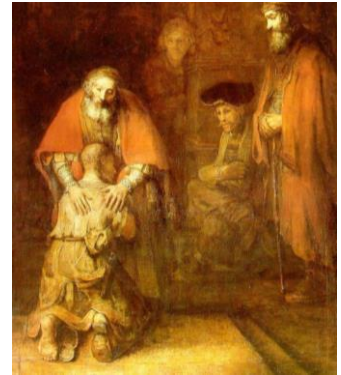


「父なる神の愛 (パート1)」

ルカの福音書15章11～24節

1

レンブラント(1668)



2

イエスはまた、こう話された。「ある人に二人の息子がいた。弟のほうが父に、『お父さん、財産のうち私がいただく分を下さい』と言った。それで父は財産を二人に分けてやった。それから何日もしないうちに、弟息子は、すべてのものをまとめて遠い国に旅立った。そして、そこで放蕩して財産を湯水のように使ってしまった。何もかも使い果たした後、その地方全体に激しい飢饉が起こり、彼は食べることに困り始めた。それで、その地方に住むある人のところに身を寄せたところ、その人は彼を畑に送って、豚の世話をさせた。彼は、豚が食べているいなご豆で腹を満たしたいほどだったが、だれも彼に与えてはくれなかった。ルカ15:11-16

3

しかし、彼は我に返って言った。『父のところには、パンのあり余っている雇い人が、なんと大勢いることか。それなのに、私はここで飢え死にしようとしている。立って、父のところに行こう。そしてこう言おう。「お父さん。私は天に対して罪を犯し、あなたの前に罪ある者です。もう、息子と呼ばれる資格はありません。雇い人の一人にしてください。』』こうして彼は立ち上がって、自分の父のもとへ向かった。ところが、まだ家までは遠かったのに、父親は彼を見つけて、かわいそうに思い、駆け寄って彼の首を抱き、口づけした。

ルカ15:17-20

4

息子は父に言った。『お父さん。私は天に対して罪を犯し、あなたの前に罪ある者です。もう、息子と呼ばれる資格はありません。』ところが父親は、しもべたちに言った『急いで一番良い衣を持って来て、この子に着せなさい。手に指輪をはめ、足に履き物をはかせなさい。そして肥えた子牛を引いて来て屠りなさい。食べて祝おう。この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。』こうして彼らは祝宴を始めた。ルカ15:21-24

5

弟息子の夢と計画

- 自分の夢をかなえる計画
- 父から遺産相続を求める
- 父を死人扱いにした?
- 自分のことしか考えていない
- 「人生はあなたが中心ではありません。」(5つの目的)
- 「人生はあなたのことではない。神のこと。神と一緒に生きること。」ヨハネ17:3
- 永遠の命とは、唯一まことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることに

6

弟息子の夢と計画

- 弟は自分のビジョンをもって計画を進めた
- 父は、悲しみと「恥」に耐えた。(親不孝者!と家から追い出すこともできた。)
- お金を使い過ぎて、計画は失敗に終わった。
- 災害も起きた。(神は災いを用いることができる)
- 仕事を求め、ユダヤ人にとっては最悪、最低の「豚飼育係」の職についた。
- 豚をうらやむほど、みじめな生活。

7

ホントホルスト(1623)



8

デューラー (1500年ごろ)



9

我に返った弟

- 仰向けに倒れて、天を仰ぐ。ピンチはチャンス
- 苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました。詩119:71
- 「神は楽しみを通してささやき、良心を通して語り痛みを通して叫ぶ。痛みは、聞こうとしない世を目覚めさせるための神のメガフォン。」 C.S.ルイス
- 「あなたはわたしから離れて生きることはできない。あなたはわたしを必要としている。」

10

我に返った弟

- 悲しみよ 水野源三、瞬きの詩人(1946-93)
- 悲しみよ悲しみよ 本当にありがとう お前が来なかったら つよくなかったら 私は今どうなっていたか
- 悲しみよ悲しみよ お前が私を この世にはない大きな喜びが かわらない平安がある 主イエス様のみもとにつれて来てくれたのだ

11

我に返った弟

- 「お父さん。私は天に対して罪を犯し、あなたの前に罪ある者です。もう、息子と呼ばれる資格はありません。雇い人の一人にしてください。」 ルカ15:18-19 **へりくだり**
- 父のことを考えた。自分の罪を認めた。
- **悔い改めにふさわしい実を結ぶ。ルカ3:8**
- それなら、悔い改めにふさわしい実を結びなさい『われわれの父はアブラハムだ』という考えを起すことはいけません。言うておきますが、神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子らを起すことができるのです。へりくだり、**プロセス**

12

我に返った弟

- 神にふさわしく生きる。福音にふさわしく生きる。悔い改めにふさわしく生きる。神と一緒に生きる。神を愛し、人を愛して生きる。
- イエス様の十字架は、私たちが十字架を負わなくて済むようにするものではなく、一緒に負うためのもの。「罪を犯しても大丈夫」ではなく、罪の恐ろしさを知らせるためのもの。
- 罪とは、神に背を向けて、神から迷い出ること。悔い改めとは、神の招きに従って神のもとに帰り神と一緒に生きること。継続するプロセス

13

砕いて砕いて砕きたまえ(水野源三)

- 御神のうちに生きていのに 自分ひとりできていると 思い続ける心を 砕いて砕いて砕きたまえ
- 御神に深く愛されているのに 共に生きる人を真実に 愛せられない心を 砕いて砕いて砕きたまえ
- 御神に罪を赦されているのに 人の小さな過ちさえも 赦せられない心を 砕いて砕いて砕きたまえ

14

砕いて砕いて砕きたまえ

- 【主】は心の打ち砕かれた者の近くにおられ 霊の砕かれた者を救われる。 詩34:18
- みな互いに謙遜を身に着けなさい。「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる」のです。ですから、あなたがたは神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神は、ちょうど良い時に、あなたがたを高く上げてくださいます。 1ペテロ5:5-6、ヤコブ4:6

15

父は走った

- 父は赦した。無礼を、侮辱を、愛のない行動を。
- 父は求め続け、待ちつづけた。
- 誇りを捨てて駆け寄る父 栄光を捨てて十字架についた御子イエスキリスト
- 栄光を捨てた神 プライドで神を捨てた人間 プライドで神に立ち返らない人間
- 一番良い服、指輪=権威

16

勝利の祝宴

- 失敗して帰って来た弟のための(勝利者の)祝賀会。
- ここに私たちの勝利がある。父の愛に全面降伏する時、圧倒的な勝利者となる。
- しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛して下さる方によって輝かしい勝利を取っています(圧倒的な勝利者となる)。わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のもものも、未来のもものも、力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。 ロ-マ8:37-39

17

父の愛に応えて生きる

- 父にとって大事でない人は一人もいない。
- 聖書は求道の書ではなく、求人書。
- 「帰って来い」という招き。神の愛の中にあなたの価値、あなたの勝ち=勝利がある。
- この愛に応えて生きる。悔い改めにふさわしく生きること
- この愛に応えて、自分の十字架を負って従い、イエス様のくびきを負って学びながら生きる。
- いっしょに生きる、自分中心ではなく、神中心にいっしょに生きる。

18